

エルサルバドル政治経済月報

(2019年5月分)

2019年6月
在エルサルバドル大使館

[大使館のビジョン]

エルサルバドルとの友好親善関係を増進し社会発展に貢献しながら日本の国益と国際公益の向上を目指す。

[大使館のミッション]

1. 日本の平和や繁栄を守るための外交政策の構築と実行。
2. エルサルバドルの世論に働きかける広報・文化事業の推進。
3. 在留邦人の生命と財産の保護，日系企業の活動支援。
4. 政治経済情報の収集・分析。
5. 自立的かつ持続的な開発への協力。
6. 服務規程を遵守し，風通しの良い職場環境の維持。

外交

1. 次期外相の発表

2日，ブケレ次期大統領は，6月1日に発足する新政権の外相ポストにアレクサンドラ・ヒル氏を任命する旨発表した。同氏は米州機構（OAS）の全米麻薬濫用取締委員会で勤務した経験を有する人物。

2. 林特派大使とブケレ次期大統領の会談

31日，6月1日に行われる大統領就任式に出席するためにエルサルバドルを訪問した林幹雄特派大使はブケレ次期大統領と約20分間会談した。林特派大使より，大統領就任への祝意を表明しつつ，安倍総理からの祝意を伝達する親書を手交した。ブケレ大統領は，エルサルバドル人は日本文化に尊敬を抱いており，日本はエルサルバドルにとっての見本，日本との経済関係の強化及び両国の貿易拡大に向けて取り組みたい，また，令和という新しい時代に，日本がますます繁栄することを祈念している旨述べた。

1. 中米共通税関申告システム開始の動向

(1) 7日、中米税関事務所（グアテマラ、エルサルバドル、ホンジュラス、ニカラグア、コスタリカ）は、中米共通税関申告（DUCA）システムを開始した。

(2) DUCA には、以下のとおり3種類ある。

(ア) DUCA T：陸路による国境通過商品に対する申告

(イ) DUCA F：中米域内原産商品の取引に対する申告

(ウ) DUCA D：DUCA Fには適用されない第三国を原産とする商品への申告

(3) 本システム開始後まもなく、情報交換システムが機能しなくなったため、緊急対応策として従来の紙媒体での申告処理を実施している。DUCA システム復旧の目処は立っていない。本問題発生により、一日あたり、4億1,500万米ドル（輸出1億5,000万米ドル、輸入2億6,500万米ドル）の損失額が見積もられた。

2. IMFによるエルサルバドル経済報告

(1) 22日、IMFはエルサルバドルとの4条協議を行い、経済の分析結果の報告を発表した。IMFの報告によると、エルサルバドルの公債の多さは、エルサルバドル経済の最大の欠点であるため、ブケレ新政権は財政調整を行う必要がある旨発表した。

(2) 2018年終盤時点で公的債務は、GDPの約70%に相当した。

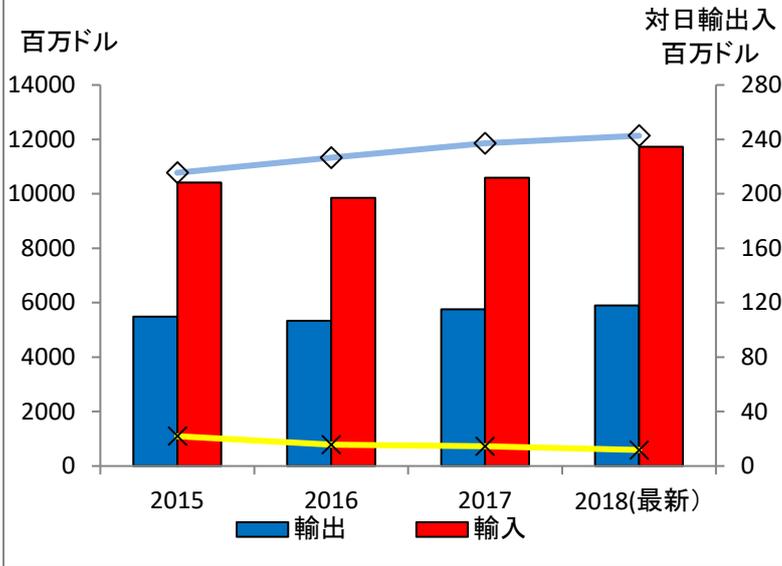
(3) IMFは、2019年～2020年の間に対GDP比の1.9%の財政調整を、遅滞なく実施することが重要であると報告した。

3. エルサルバドル過去10年間の経済成長率

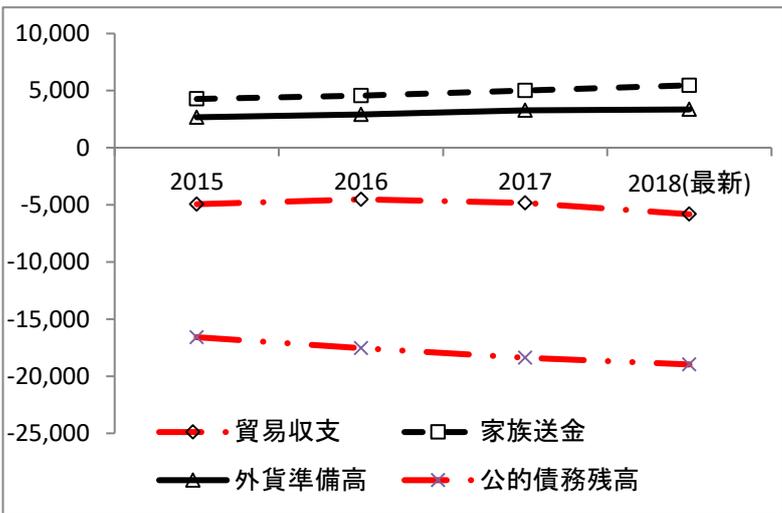
(1) 29日、エルサルバドル製造業協会（ASI）は、2009年～2019年までの10年間におけるエルサルバドル経済および産業の成長率に関する報告を行った。

(2) エルサルバドル経済は「停滞」状態が続き、10年間の平均成長率は2%未満であった。産業に関しては、1.5%の成長率にとどまった。

(3) 輸出に関しても、目立った成長はなく、輸出額60億米ドルを超えることはできなかった。

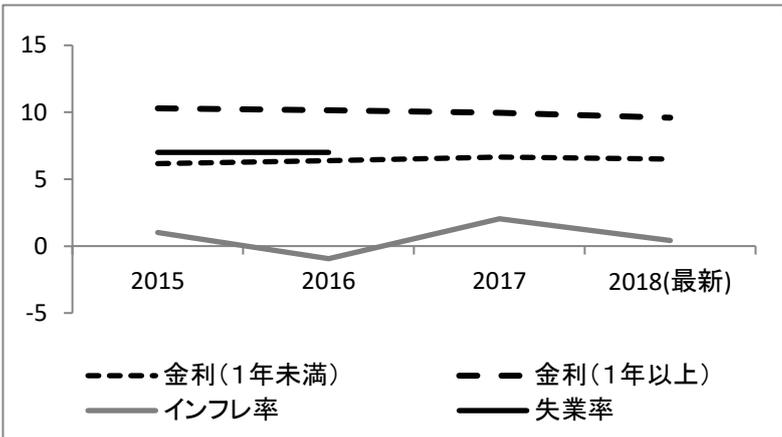


・2018年の輸出額は59億447万ドルとなり、前年比で2.5%増加した。輸入額は117億2580万ドルとなり、前年比で8.7%増加。



・2018年家族送金額は54億8,210万ドルとなり、過去最高額を記録。その内、米国からの送金は全体の93%を占めていた。

・貿易収支は-58億2,134万ドルとなり、貿易赤字は前年比で20.5%増加した。



2018年のインフレ率は0.43%となり、前年と比較し、1.61ポイント減少した。

治安

【主要事件・報道】

1. 5月2日付、国家文民警察（PNC : Policia Nacional Civil）の発表によると、4月中の殺人事件は325件で、昨年同時期より10件増加し、既に11人の軍人、17人の警官の殺害がギャングにより行われたと発表した。また今年1月1日～4月30日までの間、女性の殺人被害者は112人で、昨年発生した158人に対して28%減少した。
2. 5月3日付、国家文民警察の発表によると、交通事故により1日平均5人の死者と30人の負傷者が発生し、1日平均56件の事故が発生し、3日までに、全国で合計6,720件の事故が発生し、うち461人が死亡、そのうち146人がオートバイ運転者であり飲酒運転による事故原因は第8位であった。
3. 5月13日付、国家文民警察に発表によると、5月11日の深夜2時頃、サンサルバドル市のエルカルメン村（エスカロン地区）で手足を拘束された2人の遺体が発見された。
警察によると、死因は絞殺によるもので、被害者の一方にはギャングを示唆する入れ墨があったと報告されている。また周囲に街路灯や監視カメラはなく、車通りがほとんどない深夜に遺棄されただろうと付け加えた。

【主な邦人居住地区及び観光地治安情報】

1. 5月中のサンサルバドル市サンベニート地区及びエスカロン地区の殺人発生件数は1件。

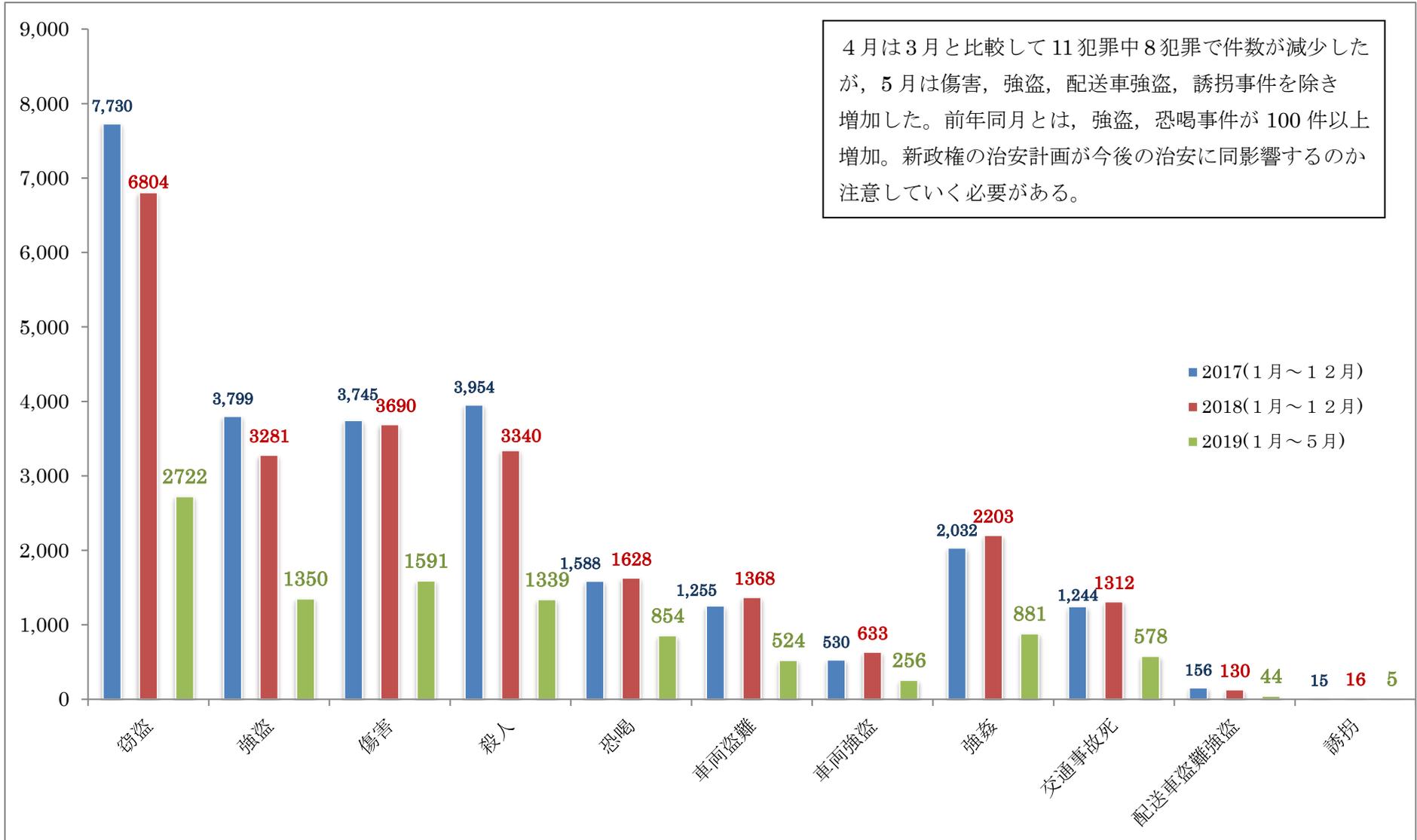
【観光地等における危険度レベル】

レベル1: 十分注意区域

レベル2: 不要不急の渡航中止区域

国立ダビッドJ・グスマン人類学博物館(MUNA)	サンサルバドル旧市街
ティン・マリン児童博物館	平生三郎公園
エルサルバドル美術館(MARTE)	サンサルバドル市の動物園
プレシデンテ劇場	プエルタ・デル・ディアブロ
サンサルバドル近郊のゴルフ場	
ベンゴア球場	
サンサルバドル市国立民芸品博物館	
クスカトラン・スタジアム	
サンサルバドル火山	
カフェタロン・フットサルコート	
ラ・リベルタ県のビーチ	
イロパンゴ湖	
サンタテクラ旧市街	
コアテペケ湖	
セロベルデ自然公園	
エル・ピタル山	
ラ・パルマ市	
サンタ・テレサ温泉	
スチト旧市街	
サン・アンドレス遺跡	
タスマル遺跡	
カサ・ブランカ遺跡	
サンタ・アナ旧市街	
オロメガ湖	
エル・ホコタル湖	
サン・ミゲル市	
オロクイルタ市	

治安統計
主要 11 犯罪（5 月）過去 2 年の状況



主な大使面談来館者

- 5月21日 JICA エルサルバドル事務所： 打合せ
- 5月22日 ヒル次期外相： 表敬
- 5月23日 FAO(世界食糧機関)エルサルバドル代表： 着任挨拶
- 5月24日 ミランダ外務次官、ガライ外務次官他： 打合せ
- 5月24日 日系企業関係者： 打合せ
- 5月27日 ポール環境大臣他： 打合せ
- 5月28日 アヤラ公共事業大臣他： 打合せ
- 5月29日 SABIOS 代表： 打合せ
- 5月29日 サッカーナショナルチーム： 対日本戦激励会
- 5月31日 在留邦人： 林特派大使 衆議院議員との意見交換

(大使の外出打合せ・訪問件数： 17 件)